

あいいくだより



ここが変わった！ 子育ての昔と今

時代が変われば、子育ての常識も変わっていくものです。世代によって考え方が異なるのは自然なこと。今月号では、「子育ての昔と今」をご紹介します。



昔		今
「抱きぐせ」とつけると、赤ちゃんがだっこを求めて泣くようになり、手がかかる。	だっこ	だっこは大事なスキンシップ。心の成長に必要なことから、たくさんだっこしたほうがいい。
頭の形がよくなる。寝つきがよくなる。	うつぶせ寝	乳幼児突然死症候群(SIDS)の予防策のひとつとして、医学上の理由がない場合は「あおむけ寝」が推奨されている。
数十年前は育児用ミルクの利用が流行っていた。	母乳	母乳が母子関係の充実や母親の健康増進に役立つことがわかってきた。
母子健康手帳に「1歳までに断乳の完了」という記載があった。	断乳・卒乳	こどもが自然とおっぱいから離れるまで授乳して問題ない。母乳の終わりを「卒乳」と表現している。
早めにはずしたほうがいい。	おむつはずれ	脳とからだの発達が進むと自然にはずれていく。大人の都合を押し付けず、こどもの様子を見ながら、あせらずに進める。
3、4か月から、離乳食の準備として、果汁などをスプーンで飲ませることが勧められていた。	離乳食開始前の準備	栄養学的な意義が認められていないため、離乳食開始前に果汁を与える必要はない。スプーンの使用は、赤ちゃんの摂食機能の発達に合わせて離乳食開始以降でよい。
湯上がりに白湯を飲ませていた。	湯上がりの白湯	離乳食が始まる前の水分は、母乳・育児用ミルクで十分。
チャイルドシートがなかったか、あっても非常に珍しいものだった。	チャイルドシート	2000年の道路交通法の改正で、6歳未満の使用が義務付けられた。

10月のわくわくサークル「ゲーム」

日時：令和6年10月30日（水）

10：00～11：30

場所：西庄公民館1階和室



SAKAIDE_AIUKUKAI

愛育会の
Instagram